



川越志政会 中野 敏 浩

民間井戸の活用について 13



**問** 災害の規模によっては市で整備した災害用給水井戸だけでは供給が追いつかない可能性があると考えますが、民間井戸の活用について市の考えを伺う。

**答** 危機管理監 川越市地域防災計画では、災害時に飲料水や生活用水を確保するため、災害用給水井戸、浄水場、耐震性貯水槽、小中学校等の受水槽に加え、必要に応じ民間井戸等も活用することとしている。現状では民間井戸を利用できる体制は整っていないが、災害時に水を確保する手段をより多く備えておくことは有効と考えられるため、今後検討していきたいと考えている。

☞ 災害に備えた再点検



川越志政会 桑 真 美子

校区スポーツ大会の検討を 15



**問** 実施率が年々低下している。保護者をはじめ児童、役員員の負担も大きく、主催と主管の区別が不明確との指摘もある。早急に改善すべきだが、今後の在り方を伺う。

**答** 文化スポーツ部長 核家族化や少子化、地域社会への考えの変化が進み、大会の開催が困難となっていると認識している。しかし、児童の心身の健康を育むとともに、社会性を養う目的は不変であるとも考える。今後も主催となる、市、教育委員会、青少年を育てる市民会議、子ども会育成団体連絡協議会を通じ、スポーツ推進委員、学校、育成会等の相互理解を図り、必要な改善を行いつつ、大会の継続と発展に向けて検討を行っていく。

☞ 校区スポーツ大会



参政党 加藤 み な こ

秋接種の情報発信について 17



**問** ワクチン接種がきっかけで副反応や体調不良に苦しむ人を増やさないために新型コロナワクチン接種に関する情報発信をどのように行っていくか考えを伺う。

**答** 保健医療部長 新型コロナワクチン接種について、国は予防接種の有効性や安全性、副反応のリスクなどワクチンの科学的知見を国民に情報提供することとなっている。接種開始から約2年半が経過し、接種後発症したさまざまな症状などの知見が国に集約されている。このような情報を含め、最新の情報を市ホームページにおいて掲載するなど、きめ細やかな情報提供に努めていきたい。

☞ ワクチン接種の情報発信 ☞ コロナ禍後の学校教育  
☞ みどりの学校ファーム



川越志政会 倉 嶋 真 史

卸売市場の今後について 14



**問** 仲卸業者の数が減り、店舗区画に空きが生じている。空き店舗の有効活用や市場の機能強化としての考えについて市の認識を伺う。

**答** 産業観光部長 仲卸業者など市場入場業者が減少する中、市場内の空きスペースを有効活用しながら、仲卸業者の生産性向上のための冷蔵や冷凍設備、衛生管理を充実させる設備の整備や来場者が利用しやすい店舗配置など、市場流通の変化や入場業者・消費者のニーズに対応した市場機能の必要性について聞いているところである。

市としては、市場を取り巻く状況の変化に対応した市場の活性化に向けた取り組みを期待している。

☞ 卸売市場の今後



川越志政会 樋 口 直 喜

歴史的建造物の防火・防災 16



**問** 被災した歴史的建造物を保険で再建する場合、高額な保険の備えが必要だと思うが、個人所有の歴史的建造物への市による包括的な保険加入や補助は考えられないか。

**答** 教育総務部長 今年8月に実施した防火・防災対策の実施状況に関するアンケート調査の結果により、歴史的建造物の再建に特化した保険商品が確認できなかったこと、また、所有者は再建費用の補償が含まれることで、保険料が高額になってしまうことを懸念している様子が確認できた。まずは、さまざまな補償保険を扱う包括連携協定企業等へのヒアリングを行うなど、今後、調査、研究に努めたい。

☞ 文化財建造物等の防災



無所属 川 口 啓 介

決定は市長判断によるべき 18



**問** 公共施設の廃止、複合化を含めた施設の集約等の取り組みの決定は、市長の判断によるべきものと考えますが、市長の考えを伺う。

**答** 市長 本市は人口急増期に多くの公共施設を整備してきた。現在はその多くが老朽化し、大規模修繕や建て替えが求められる他、社会保障や少子高齢化に合わせたまちづくりという課題にも対応するため、財政コストを考慮した行財政運営に取り組んでいる。財源を有効活用し、将来も必要な行政サービスを安定的に提供するためには、集約等の取り組みを進めることも考えられる。取り組みを進める際には、必要に応じて私が判断していく。

☞ 公共施設マネジメント